

# ～耕作放棄地を活用し飼料米の生産～

千葉県いすみ市

平成22年度事例集掲載事例

取組主体:株式会社 千葉農産

取組開始時期:平成21年

解消面積:5.5ha(平成22年3月現在)

導入作物:水稲(飼料用)

## 1. 取組のきっかけ・経緯

生産調整、機械化の進展、米価の低迷、高齢化などにより、次第に農家が減少し、耕作放棄地が増加。地権者の「荒れる一方の田を何とかできないか。」という思いを同社が受け入れた。

## 2. 取組の内容

○再生作業にあたって、いすみ市農業委員会が地権者48名と土地利用調整を行い、同社に利用権を設定。平成21年度に耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して5.5haを再生し、今年5月に飼料用米を作付けした。

○収穫した飼料用米は石油系会社にそれぞれ販売している。

○いすみ市以外においても、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市において年間5～6haの耕作放棄地再生作業を実施している。

## 3. 活用した補助事業

耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容 : 再生作業(除草、抜根、整地)、土壌改良)



再生前



再生後